

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報

京都府中小企業団体中央会

newsline

2015/2

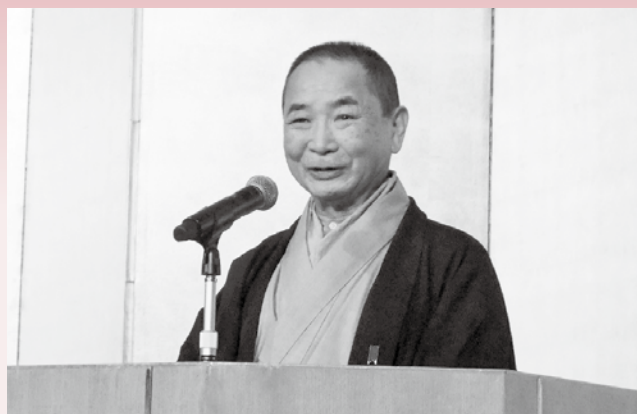
平成27年 新年賀詞交歓会を開催	1
中央会NEWS ・京都府知事・京都市長との合同懇談会を開催	2
・平成26年度企業組合部会 組合運営研究会を開催	2
・京都青年中央会 平成26年度第3回CAPサミットを開催	2
・女性のためのキャリアアップセミナーを開催	3
・京都府中小企業女性中央会 MOCOカフェを開催	3
予告 京都府中央会 創立60周年記念式典	3
再発見！連携のチカラ No88 秩父樹液生産協同組合/秩父観光土産品協同組合	4
会員団体活動紹介 酒蔵開きのご案内/伏見銘酒協同組合	5
「京もの指定等工芸品展」を開催/京都伝統工芸協議会	5
平成27年度有料広告の募集について	6
会長コラム No28 マダガスカル	7
京都経済お天気	7
新加入会員紹介	8

平成27年 新年賀詞交歓会を開催

本会では、1月5日（月）、京都ブライトンホテルにおいて、恒例の新年賀詞交歓会を開催、府内中小企業団体の代表者をはじめ、行政機関、関係機関等より約300名が参集し、年頭の挨拶を交わした。

渡邊隆夫会長は、「昨年は急激な円安による原材料の値上げや消費税の値上げなど中小企業にとっては厳しい1年であった。厳しい時代ではあるが、中小企業の繁栄なくして、地域経済ひいては日本経済の発展はないことを肝に銘じて政治の舵取りをしていただくことを、新しい政権に切に望む。中央会としても、京都の中小企業や組合による積極的な取組が一層進展するよう、引き続き全力で取り組んでいく。」と力強く新年の挨拶を述べた。

続いて、ご来賓を代表して、山田啓二京都府知事、門川大作京都市長よりご祝辞を賜った後、新年の門出を祝い高崎秀夫一般社団法人京都銀行協会会長より伏見の銘酒による乾杯のご発声が行われ、新たなスタートを切った。



祝辞：京都府
山田知事



祝辞：京都市
門川市長



乾杯：京都銀行協会
高崎会長



中締め：松井副会長

ごめんなさいが、すなおにいえたら、こころもからだも えがおになれるよ。

京都人権啓発推進会議／京都府中小企業団体中央会

京都府知事・京都市長との合同懇談会を開催

12月24日（水）、鶴清において、京都府知事・京都市長と本会役員との合同懇談会を開催した。京都府からは山田啓二知事、山下晃正副知事をはじめ幹部の方が、京都市からは門川大作市長、塚本稔副市長をはじめ幹部の方が、また本会からは渡邊隆夫会長をはじめ42名の役員が出席した。

懇談会では、渡邊隆夫会長より山田啓二知事、門川大作市長に要望書が手渡され、終始和やかな雰囲気の中で懇談を行った。京都府・京都市への要望は、重点要望事項と分野別（業界・組合別）要望事項からなり、重点要望事項では、「西陣織・京友禅及び丹後織物に従事する事業者・職人に関する実態調査の実施」、「中小企業の人材確保・定着支援事業への支援」、「官公需対策の強化」、「中央会創立60周年記念事業に対する助成」をあげている。更に、京都府には、「北部・南部地域の振興対策」、「きょうと信頼食品登録制度に対する事業委託費の大幅な増額」を、京都市には「公契約に関する基本条例の早期制定」をあげ、府市協調による中小企業支援策の更なる推進を求めている。



平成26年度 企業組合部会 組合運営研究会を開催



保津川遊船企業組合
工藤 正理事長

企業組合部会（部会長・理事：都企業組合 君川英夫専務理事）では、12月2日（火）にホテルモントレ京都において組合運営研究会を開催し、部会所属組合の役職員約50名が出席した。

本会会員であり集中型企業組合として積極的な事業運営を行っている保津川遊船企業組合の組合運営事例研究をテーマに、「保津川下りの歴史と今後の展望について」と題し、同組合の工藤 正理事長から、保津川下りの歴史的な変遷、組合の設立経過や組合運営の特徴、さらに自然環境や文化的背景を活かした保津川下りの観光的な魅力と今後強化していく取組などについて説明を受けるとともに、企業組合の事業運営等について懇談を行った。

京都青年中央会 平成26年度第3回 CAPサミット（代表者会議）を開催

京都青年中央会（芳村 敦会長、会員43青年部）では、12月9日（火）、京都市内の「さざんか亭 六角」において第3回CAPサミット（代表者会議）を開催、延べ18青年部24名の代表者等が参加した。

今回のサミットでは、まず初めに芳村会長就任以降11月までの間に、青年中央会役員が、全会員青年部の代表者等を訪問し、青年部及び青年部員の方々の現状や抱えている課題、本会に対する要望等について意見交換を行ってきた「会員青年部数珠つなぎ」の報告を行った。

続いて、2グループに分かれテーブル毎に、青年中央会の運営、理事出向、会員拡充、事業内容及び事業参加について課題を洗い出し、より良くしていくための対応策をディスカッションした。各青年部には共通する課題があり、青年中央会の今後の活動展開についてディスカッションする中で、「よりよい青年中央会」並びに「各青年部の活性化」につなげていくための多くの意見が出された。



女性のためのキャリアアップセミナーを開催



1月16日（金）、京都ガーデンパレスにおいて、「女性のためのキャリアアップセミナー」を開催した。

第1部のセミナーでは、改めて“おもてなしの心”について考え、人に感動を与える心と技を学ぶため、株式会社ウィズネスの菓子田圭子チーフを講師に招き、「おもてなしの心を日常に生かす」と題した講演を拝聴した。菓子田氏は、「“おもてなしの心”とは、ホスピタリティである。同じような言葉である“サービス”との違いは、サービスには義務が含まれている。おもてなしには、マニュアルを超えたホスピタリ

ティが必要である。」と説明され、おもてなしに必要な要素として、明るさ・想像力・発信力を挙げられた。また、相手の情報を引き出す傾聴スキル、目線の与える印象、空間管理について説明され、「あたりまえの事をあたりまえにやり続ける見えない努力、人に接する際には親身になること、自分も楽しむことが大切である。6年後には東京オリンピックが開催され、京都にも多くの観光客が訪れる。京都に来られた方々が残念な思いをされないよう、一人ひとりの京都人が心に磨きをかける。皆さまにも、その草の根運動に参加していただきたい。」と結ばれた。

第2部の交流・懇談では、終始和やかな雰囲気の中、本セミナー参加者による自由懇談を行い、業種を超えたネットワークづくりを行う有意義な場となった。

京都府中小企業女性中央会 MOCOカフェ ～ソーシャルビジネスを考える～を開催

京都府中小企業女性中央会（伊庭節子会長：本会理事・八島おかみさん会会長）では、本会の「女性のためのキャリアアップセミナー」終了後、同会場において、MOCOカフェを開催した。MOCOカフェは、女性中央会の会員に限定せず広く参加を呼びかけ、毎回テーマを定め情報交換・意見交換を行う場として開催するもので、今回は、一般社団法人オープン・ガーデン 桜井肖典代表理事をコーディネーターに招き、「ソーシャルビジネスを考える」をテーマに意見交換が行われた。

はじめに桜井氏よりソーシャルビジネスについて説明、続いて、遠山あゆみ理事（協同組合日新電機協力会 事務局長）より昨年10月18日（土）に実施したNPO法人 工房おのみち帆布の視察報告が行われた後、和田登美子副会長（あてらの会 会長）の進行のもと、それぞれの活動についてソーシャルビジネスの視点で活発な意見交換が行われた。

桜井氏は、「女性中央会は、経営者や経営者のパートナー等の人たちが集まり、研修会など一人ではできないことを一緒に取り組むとともに、情報交換の場となっている。また、女性中央会に所属していない人たちにも参加を呼びかけ、その場を提供しており、経済的価値ではない多くの価値を創造している。女性中央会の活動自体がソーシャルビジネスである。」と結ばれた。



予 告

京都府中小企業団体中央会 創立60周年記念式典

本会は、昭和30年に創立以来平成27年度で創立60周年を迎えることとなり、来る6月26日（金）に創立60周年記念式典を開催する運びになりました。この輝かしい60周年を会員の皆様に多数御出席を賜り、御一緒に祝いたいと存じます。

また、創立60周年記念式典に先立ち、平成27年度通常総会も同日開催致しますので、是非ともご予定下さいますようお願い申し上げます。

日 時 平成27年6月26日（金）午後4時～8時（予定）（通常総会：午後3時30分～）

場 所 ホテルグランヴィア京都

内 容 （第1部） 記念講演 午後4時～5時10分 講 師 第21代文化庁長官 青柳 正 規 氏
テーマ （仮題）「文化と産業の振興」

（第2部） 記念表彰式 午後5時20分～5時50分

（第3部） 記念祝賀会 午後6時～8時

お問合せ 京都府中小企業団体中央会 総務情報課 ☎ 075 - 314 - 7131

林業再生と森林保全「和メープル」シロップで山を守る

秩父樹液生産協同組合・秩父観光土産品協同組合（埼玉県）

秩父地域に生育するカエデの樹液を採取し、それを秩父地域の特産品として売り出すことで地域経済の振興を図るとともに、林業の再生と森林の保全に繋げていく。

背景と目的

秩父地域の育林業は、他の生産地同様、安価な輸入材に押され収支割れの状態が長く続いている。一方、同地域には日本で確認されている28種のカエデのうち21種の生育が確認されていることから、カエデから採取した樹液を新たな森林資源と位置付け、国産メープルシロップの原材料提供を推進する機運が高まった。

カエデ樹液は木を伐採せずに毎年同じ木から採取できる循環型の森林資源であり、今までの建築素材を供給する「伐る林業」とともに「伐らない林業」を並行して取り組むことで森の有効活用を図り、林業と経済の振興を目指すものである。

そこで、埼玉大学からの協力を得て秩父地域に生育するカエデの分布調査や樹液の成分分析を行ったところ、カエデの育成位置や種類毎に異なる特性等を把握して食品素材開発の可能性を広げることになった。

事業・活動の内容

秩父樹液生産協同組合は、法人化以前よりNPO法人秩父百年の森と共同で、森林保護活動を中心に活動してきた。その活動の一環として地域に自生するカエデの木から採取される樹液に着目し、これを使って林業の振興のみならず地域の特産品として売り出すことはできないかと思案していた。

そこに、秩父樹液生産協同組合役員と旧知の仲であった秩父観光土産品協同組合の役員が意気投合し、今回、秩父地域に生育するカエデから採取される樹液を新たな森林資源として、森林保全を図りながらカエデの育成とカエデ採取に取り組んで活動している秩父樹液生産協同組合と採取した樹液を全量買い取るかたちで、その樹液を利用した秩父地域の特産品の商品開発・販売・PR活動をしている秩父観光土産品協同組合が、お互いが単なる取引先ではなく、

両組合が「森林資源としての活用と保護」「地域の特性を活用した地域経済振興」という共通認識のもと連携して取り組むこととなった。



カエデ樹液の採取風景



カエデ樹液を使用した新メニューの試食会

成果

本活動の内容は、原材料の供給と納入に集約されがちだが、根幹は「地域の森林資源保護を目的として、育林～樹液の採取～新たな苗木の植林、という循環型活動スタイルを構築するための費用をカエデ樹液の販売から得られる収益から捻出する」ことである。

本活動の成果として、秩父観光土産品協同組合では、販路拡大などにより組合活動の活性化とともに地域経済振興に結びつくものになった。同時に、循環型活動スタイルの構築ができ、秩父樹液生産協同組合の秩父地域の森林資源の保護・育成活動に十分に力を入れることを可能にしたことである。

今後も魅力ある商品開発を行い高付加価値商品へと転換することで、win-winの関係を構築し、秩父地域の森林保護と地域経済振興の持続的な活動を可能にしている。

《組合DATA》

秩父樹液生産協同組合
〒369-1901 埼玉県秩父市大滝919番地
☎ 0494-55-0122
URL <http://acermono.com/>
(連携先組合)
秩父観光土産品協同組合
〒368-0004 埼玉県秩父市山田980番地
☎ 0494-22-4411

お知らせ 詳細につきましては、本会ホームページをご覧ください。

平成26年度組合管理者講習会

第1回講座	【組合の決算】 平成27年2月23日（月）13：30～16：30 京都府中小企業会館 806会議室 講師：税理士 浪花 健三氏
第2回講座	【組合の税務申告】 平成27年2月24日（火）13：30～16：30 京都府中小企業会館 806会議室 講師：税理士 浪花 健三氏
第3回講座	【組合の決算、消費税及び法人税等の申告】 平成27年2月26日（木）10：30～15：00 サンプラザ万助（福知山市内） 講師：税理士 浪花 健三氏
第4回講座	【組合の登記事務】 平成27年3月6日（金）13：30～15：00 京都府中小企業会館 805会議室 講師：京都地方裁判所 法人登記部門 登記官

■受講料 1講座お一人1,000円（当日頂戴します）

お問い合わせ

京都府中央会 いそみ
連携支援課 五十橋 ☎ 075-314-7132
北部事務所 黒石 ☎ 0773-76-0759

いのち・住まい・職を京都の大地震から守る

B C P（事業継続計画）策定支援セミナー

■日 時 平成27年3月4日（水）13：30～16：20（受付13：00～）
■場 所 京都平安ホテル 1階「平安の間」
■内 容 第1部 13：30～15：00
テーマ 「いのち・住まい・職を京都の大地震から守る」
講 師 京都大学大学院工学研究科
建築学科専攻・教授 林 康裕氏
第2部 15：10～16：20
テーマ 「事業継続計画(B C P)の基本的な考え方
～東日本大震災の教訓を踏まえて～」
講 師 東京海上日動リスクコンサルティング株式会社
ビジネスリスク事業部ビジネスリスクグループ
主任研究員 池上 雄一郎氏

■受講料

無料

■定 員

150名（先着順にて定員になり次第締め切らせていただきます。）

お問い合わせ

京都府中央会 連携支援課
鈴木・大槻 ☎ 075-314-7132

酒蔵で搾りたての酒を飲もう！ 酒蔵開きのご案内

伏見銘酒協同組合では、搾りたての新酒と当日の限定酒の販売、各蔵清酒試飲販売、酒粕をはじめ京都伏見の名産品等を販売する。

(注) 酒類を試飲致します。自転車を含め車両でのご来場は堅くお断り致します。

開催日時 平成27年3月1日(日) 午前11時～午後3時

開催場所 伏見銘酒協同組合

開催内容

- ・搾りたての新酒と当日の限定酒の販売・2種類(各1杯)200円
- ・酒粕販売800g 500円・お一人様10袋まで【限定2,000袋】
- ※午前11時より販売開始。混雑した場合は、販売開始時間を早めることがあります。
- ・鳥せい特性粕汁販売・1杯200円
- ・各蔵清酒試飲販売・京都伏見の名産品等販売

お問合せ メールにてお問合せ下さい。fushimi@leto.eonet.ne.jp



昨年11月30日に開催された酒蔵開きの様子

《団体DATA》

伏見銘酒協同組合

理事長 山本 源兵衛

〒612-8044

京都市伏見区丹後町148番地の1

☎ 075-612-6006

FAX 075-612-5600

「京もの指定等工芸品展」のご案内

京都伝統工芸協議会の常設展示場「ギャラリー圓夢」では、京の工芸展をご覧いただけます。現在は、「京もの指定等工芸品展」を開催し、伝統工芸品を展示・販売していますので、ぜひご来場ください。

日時 平成27年1月8日(木)～平成27年2月24日(火)

10:00～16:30(最終日は15:00まで)

※水曜休廊日

場所 ギャラリー圓夢

京都市東山区高台寺西側圓徳院敷地内

京・洛市「ねね」2F(高台寺 掌美術館入口横)



《お問合せ》

京都伝統工芸協議会

☎ 075-314-7131 FAX 075-314-7130

URL <http://www.kougei-kyoto.jp>



セミナー・研修をお考えの組合・団体様へ

組合主催 企業研修プラン

お問合わせの多い今注目のセミナー

- 接遇マナー研修
- 電話応対研修
- リーダー研修
- 管理職研修
- メンタルヘルスのセルフケア研修

研修実施に関する細かい相談承ります!

- 募集のためのツールの作成
- 会員各社へのヒアリング
- 実施会場の手配

忙しい組合様をお手伝いします! 研修のプラン作りから実施まで全て当社にお任せください!

- 「何かを改善しないといけないが、どこに原因があるかわからない」
- 「人材定着のための何か良い策はないものか」
- 「経営者だけでなく、中堅、若手にも他社との交流の場があればよいのに」



会員企業様のそんな御声にこたえるために

「組合主催の研修」

というイベントを開いてみませんか?

中央会特別会員

〒600-8009 京都市下京区四条烏丸西入ル 京都産業会館 2 階

URL <http://www.icl-web.co.jp> E-mail seminar@icl-web.co.jp

ICL 株式会社アイシーエル

☎075-254-7311

営業時間 9 時～18 時(土・日・祝日は休業)

小規模企業の経営者の皆さまへ

退職後のゆとりある生活のために

小規模企業共済制度

先行き不透明なこの時代。
退職後の生活資金は
万全ですか？

未来のために
小さな一歩

経営者の皆さま。退職金の準備を中小機構がお手伝いします。

小規模企業共済制度に加入し、毎月掛金を納付すれば、退職時に共済金が支払われ、現役引退後も安心した生活設計が立てられます。

- ①常時使用する従業員の数が、20名以下(商業、サービス業は5名以下)の個人事業主、共同経営者、及び会社等役員の方が対象です。
- ②掛金月額が1,000円～70,000円の範囲内(500円単位)で自由に選べます。
- ③毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば課税対象所得400万円の方なら約11万円の節税になります。
- ④いざという時に掛金合計額の一定の範囲内で事業資金等の貸付けが受けられます。

●本制度の詳細内容は、ホームページまたはパンフレットをご覧ください。

制度の運営機関：独立行政法人中小企業基盤整備機構 TEL：050-5541-7171(共済相談室)

小規模企業共済

検索

京都府中小企業団体中央会 機関紙「協同」 平成27年度有料広告の募集について

本会では、平成27年度に発行する機関紙「協同」の有料広告を募集します。得られた広告料収入は、中小企業組合をはじめ傘下の中小企業者の経営に役立つ有意義な情報提供事業を行うため、有効に活用致します。

■機関紙「協同」について

- ①発行日 毎月1日
- ②発行部数 1,200部
(1月号及び6月号は1,500部)
- ③サイズ等 A4版 8ページ、2色刷り
(6・9・12・3月号は12ページ)
- ④配布先 本会会員、関係機関、報道機関等

■掲載対象

本会会員組合、特別会員、賛助会員及び会員組合傘下の企業。

■広告掲載内容について

広告の内容が以下に該当する場合は、掲載をお断り致します。

- ①公の秩序または善良の風俗に反するもの
- ②政治活動・宗教活動・意見広告に関するもの
- ③その他広告媒体に掲載する広告として妥当でないと会長が認めるもの

■掲載サイズ及び料金について

※掲載場所につきましては、ご相談の上、本会指定の場所となります。

サイズ	掲載料 (1回あたり)	年間掲載料
A4 全面 縦27.2cm×横18.5cm	50,000円	480,000円 @¥40,000
A4 1/2 縦13.3cm×横18.5cm	30,000円	240,000円 @¥20,000
A4 1/3 縦8.8cm×横18.5cm	20,000円	120,000円 @¥10,000
A4 1/6 縦4.3cm×横18.5cm 縦8.8cm×横9.1cm	10,000円	96,000円 @¥8,000

■申込締切

平成27年度年間通しての掲載を希望される場合は、平成27年2月27日(金)までにお申し込み手続きをお願いします。なお、単月の有料広告につきましては随時募集しておりますので、お気軽にご相談下さい。

＜お問合せ・お申込先＞

京都府中小企業団体中央会 担当：企画調整課 ☎ 075-314-7131
〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17番地 京都府中小企業会館4階

マダガスカル



「マダガスカル到着後のことですが、アンツィラベで貧困家庭を訪れます。日本とは違い家の前はぐちゃぐちゃのぬかるみです。長靴をご用意くださいませ。道路もぬかるんでいる可能性もありますので」

このようなFAXを曾野綾子さんからいただいたのは、出発の10日程前だ。曾野綾子さんのマダガスカル行きに誘われて3年目。時間が調節できないなどの言い訳ばかりではあまりにも情けないので、ついに昨年11月の初旬から半月余りマダガスカルへ行くことに決意した。目的はマダガスカルの貧しい子どもたちに対して、無料で口唇口蓋裂の手術をするチームに参加することだ。もともと曾野さんが海外邦人宣教師活動援助後援会（JOMAS）の代表をされていて、その後、昭和大学病院形成外科の土佐泰祥先生（この方の父上と三浦朱門先生は高等学校の同級生だった）を柱として、日本財団、昭和大学医学部、多くのボランティアの人たちによって立ち上げられ、チーム派遣としては本年が3年目になる。

さて、なぜマダガスカルなのか。実は、1983年にある修道院が経営する産院を舞台にして書かれた曾野綾子さんの小説「時の止まった赤ん坊」が絶版になっていたのを海竜社により復刊された。その舞台となった場所がマダガスカルのアンツィラベなのだ。（これはぜひ買って読んで下さい。）

マダガスカルとは、南半球の赤道近くアフリカ大陸の東端にあり、日本の1.6倍の大きな島国で、人口は2,200万人。国民の92%は一日2ドル以下で生活するという貧困国である。ただ、2014年1月にヘリー・ラジャオナリマンピアニナ新大統領が国際選挙監視団のもとで選ばれてから少しずつ安定し、各国の援助も増えつつある。もっともフランスから独立したのが1960年。その間の苦労は大変だったであろうことは容易に推察される。

さて、同国の首都はアンタナナリボで人口は200万人あまり。アンツィラベは人口20万人で首都から170kmほど離れた標高1,500mほどの落ち着いた町である。ここにあるアヴェマリア産院は小説の主舞台であり、修道女の遠藤能子さん（2006年に亡くなられた）を主人公として書かれているが、なんと京都出身の牧野幸江さん（昭和8年生れ）がアヴェマリア産院で働いておられた。その産院では、たった一人の日本人であるが、昭和大学医学部の20人あまりの形成外科チームの事業が成り立つのは、首都の病院で働いておられる北海道出身のシスター平間理子さん（昭和14年生れ）、この2人の力によるところが大なのだ。シスター牧野は今でも京言葉で発音不全の赤ん坊に話しかけたり、また他の看護師が日本の粉ミルクをくすねるのを嘆いたりしているが、元気に働いておられる。開知小学校、華頂高校、第一日赤で看護師の資格を取得した、本当に素晴らしい方にお会いできた。

さて、マダガスカルだが、アフリカでは珍しいインドネシアからアジア系の人たちである。92%の人たちに蒙古斑があり、また人口の割には日本語を習う人が多く、その数は1,400人いるとのことである。私たちの通訳も大変有能であった。

ただ、日本とのつながりがまだまだ低く、フランス、チャイナ、アメリカがやはり大きな存在である。住友商事のニッケル鉱開発がうまくいけば良いのだが。

これらの国が日本国憲法の前文「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、我らの安全と生存を保持しようと決意した」にあるような国であれば良いが。ちょっとアフリカ人と異なるこの国の今後は気になる。シスター牧野のご健勝を祈っている。

会長 渡邊 隆夫

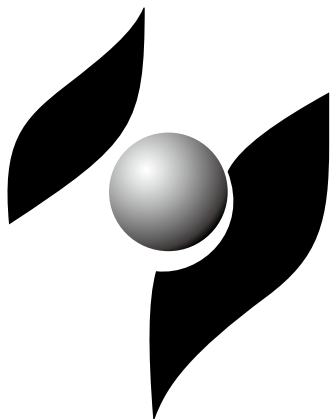
京都経済お天気

中小企業団体情報連絡員12月分報告より

■先行き予断を許さず

	業界景況天気図	概 況
全 体	11月 → 12月  	円安の進行に伴う原材料費の高騰、光熱費の値上がり等、コスト上昇分の価格転嫁に苦慮している状況に変わりはない。特に製造業においては景況感は悪化している業界が多く、景気回復の兆しを感じられない。中小企業の先行きは予断を許さない状況にある。
製造業 11月 ↓ 12月	繊維工業  	洋装関連、和装関連ともに低迷している。府北部の産地では、消費税増税後の需要低迷、最低賃金のアップに加え為替変動による原材料高、生産現場の高齢化に設備の老朽化と、生産メーカーにとっては悪条件が重なりすぎたこともあり、年末にかけて中堅どころのメーカーが相次いで縮小、廃業に向かった。
	出版・印刷  	業況売上・受注高、販売価格、取引条件、収益状況等、各調査項目において悪化または減少となっており、依然として厳しい状況で推移している。
	鉄鋼・金属  	前月と状況は変わり、受注（売上）が減少した企業と不変の企業が多い。要因は円安による材料高騰や大手企業の海外調達による国内需要の落ち込みが影響しているものと思われる。業界別では、自動車部品の受注が減少、その他の業界の動きも活発ではない。
	一般機械等  	一般機械器具製造業では、全体的に操業度は上昇しているものの、依然として収益状況が好転しているところは限定的である。電機機械器具製造業では、短期受注残は比較的良好な状況があるものの、中長期受注残は依然として厳しく本格的な景気回復は実感として感じられない。
	その他製造業  	プラスチック製品製造業では、売上高は増加傾向だが、原材料、電気料金高で収益状況はついてきていない。木材等製造業では、消費税増税前の駆け込みの反動の影響が9月頃から稼働率が落ちており業界全体で売上が悪い。
非製造業 11月 ↓ 12月	卸 売  	生鮮食料品卸売業では、量販店やコンビニの元旦営業が定着したため年末商戦の言葉は死語となった。年末12月に実施された衆議院議員総選挙のため料理飲食業界は宴会の中止や延期が発生、私達中央市場にも取扱い量減少の余波が及んだ。
	小 売  	家電小売業では、消費税増税後、消費者の消費に対する不安感があり、購買意欲の減少で販売が低迷した。燃料小売業では、原油価格が年末には急激な下落となり、ガソリン価格は大幅に下落。冬場の暖房用灯油の出荷も不調で在庫損が出る状況となり、収益も改善せず厳しい年末となった。
	商店街  	京都市内中心部の商店街では、12月前半は特に人通りが少なく閑散とした商店街であったが、中旬以降はクリスマスモードと師走の買物客で賑わっていたように感じる。府北部の商店街では、前年に比べ降雪、積雪する時期が早く、寒い12月となり客足減に影響したようだ。
	サービス  	旅行業では、宿泊（国内）のクーポン発行高は対前年同月比82.79%と大幅に減少となった。2015年3月北陸新幹線開業を控え、新たな流れに期待したい。また、海外旅行については円安やエボラ出血熱等の影響が減少気味であったが回復している。
	建 設  	新築については発注する世代の好みかハウスメーカーが勝っており、増改築の仕事も減少している。造園工事業では、公共事業は動いているようだが、一般の民間業務は何とか維持といったところと、値下げ要請や手入の回数減というお客様もあり、少なくとも私たちの周囲では、景気状況は悪化しているのではないと思われる。
	運輸・倉庫  	道路旅客運送業では、12月に入ると観光業務は一段落した代わりに夜間の忘年会での送迎が発生したが、乗務員の不足が続いており会社全体の利益向上には至っていない。この乗務員不足を補うため中途採用はもちろんのこと、新卒者の乗務員採用を視野に入れ動いていかねばならない状況である。

 快晴 DI値 40以上	 晴れ 20～40未満	 曇り 20未満～△20未満	 小雨 △20～△40未満	 雨 △40以上
--	---	--	---	--



人を思う。未来を思う。

商工中金

新型定期預金

マイハーベスト

有利な金利設定

通常の債券・定期預金（固定金利）より 高めの金利（当金庫内比較）
をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

固定金利の半年複利

着実に、そして効率よく資産を増やせます。

1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

- お預け入れは、50万円以上 1円単位です。
- お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
- 詳しくは店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金

平成26年分

確定申告

申告書の作成は
国税庁ホームページが
おすすめ

確定申告 検索

Step1 国税庁ホームページで申告書を作成

Step2 ネットを使って
e-Taxへ送信

印刷して送付

申告と納税

所得税および復興特別所得税 贈与税	消費税および地方消費税 (個人事業者)
平成27年 3月16日(月)まで	平成27年 3月31日(火)まで

※掲載カードに掲載された電子記録媒体、社会保険・国民年金の届出に準じ、平成26年1月1日現在で申告・交付が完了した「個人番号カード」に準拠されます。

平成25年分から平成26年分まで、復興特別所得税（原則として各年分の所得税額の2.1%）を所得税と併せて申告・納付することとされています。
確定申告書の作成に当たっては、「復興特別所得税」の記載漏れのないようご注意ください。

なが——い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、
積み立てる、備える、管理する…
京都銀行は、人生のさまざまなシーンで
皆様を応援します。
お気軽にご相談ください。

飾らない銀行

京都銀行

<http://www.kyotobank.co.jp/>

◆◆◆新加入会員紹介◆◆◆

※掲載につきましては、掲載のご承諾を頂いた会員及びその内容を掲載しております。

特別会員
会 員 名 株式会社伊と幸
所 在 地 京都市中京区御池通室町東入竜池町448番地の2
代 表 者 代表取締役 伊藤 公一
設立年月日 昭和6年6月1日
主な事業 和装用白生地製造卸業
U R L <http://www.kimono-itoko.co.jp>

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を
付した12色を創作したうちの「柴漬け色」です。

月刊中小企業連携組織活性化情報 協同

2/2015 平成27年2月1日発行 通巻818号

●編集・発行●

京都府中小企業団体中央会

京都市右京区西院東中水町17(西大路五条下ル) 京都府中小企業会館4階

☎ 075-314-7131 FAX 075-314-7130

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp